2023/2/15　Ver.1.1

＜情報公開文書＞
ヒト胎児の形態形成に関する定量的解析

ヒト発生現象は、複雑なプロセスをへて成り立っています。胎児期においては、妊娠中の超音波エコー検査にて形態観察などは可能となってきていますが、詳細な分析、観察は困難です。
京都大学医学研究科附属先天異常標本解析センターにおいては、以前より、任意での同意により提供していただいたヒト胎児標本を貴重な医学研究試料として収集、管理し、形態研究を行ってきました。尚、試料提供前または、提供後であっても同意撤回は可能です。更なる理解を深めるため、画像データなどによる定量的なデータ解析を行い、成長や形態変化をより客観的に理解することを目的とした研究を進めています。
京都大学医学研究科附属先天異常標本解析センターに所蔵される貴重なヒト胎児標本に対して MRI、CT をはじめとする画像診断機器を利用し、その画像を解析することにより、発生過程の三次元的な観察と解析を行っています。また、これらの画像診断機器を利用することにより、貴重なヒト胎児標本を損壊することなく解析することが出来ます。
研究対象は全身に及びますが、形態学的には頭蓋顔面形態、中枢神経系（脳など）、筋骨格系の解析を主として行っています。いずれの器官系においても、発生過程において、どの部分がどの時期にどの程度成長するのかについての具体的データを得ることができます。これらにより、例えば、頭蓋顎顔面形態の解析によって、頭蓋顔面先天異常疾患（唇裂など）における形態異常を呈する過程やそのメカニズムをより明らかにすることが出来ます。また、筋骨格系の解析により、類推に頼っていた胎児期からの運動能力の発達について基礎的データを得ることができます。脳神経系においては、ヒトの胎児期における脳内部構造の形成過程を解析することにより、ヒトに特異的な神経構築を解明する基礎的データを得ることができます。
これらのデータをもとに、先天異常疾患における形態異常形成過程を解明することが可能となり、従来よりも、その原因やメカニズムに焦点を当てた治療方法を考案、検討する一助になればと考えています。

＜研究責任者＞
山田重人（教授）
京都大学医学研究科附属先天異常標本解析センター、人間健康科学系専攻

＜研究実施期間＞
機関の長の実施許可日から 2027 年 3 月 31 日

＜対象となる試料・情報の取得期間＞
2017 年 4 月以降に、死体解剖保存法第 17 条に基づいて、教育研究のために、協力産婦人科医から先天異常標本解析センターに提供を受けたヒト胎児標本を対象としています。

＜研究資金・利益相反＞
運営費交付金および科学研究費補助金（課題番号：21K16922 研究課題名：ヒト顔面骨格の子宮内における成長様式の解明）で行える範囲内の研究である。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査している。

2023/2/15　Ver.1.1

＜倫理審査＞
京都大学大学院医学研究科　医の倫理委員会にて承認を受けております。

＜個人情報管理および登録機関＞
京都大学医学研究科附属先天異常標本解析センターでは、ご提供していただいた胎児標本は匿名化して登録し、ご提供者からの登録抹消要請が無い限り研究対象として管理させていただいております。

＜研究内容等について＞
　研究計画書や研究の方法に関する資料は閲覧可能です。閲覧希望の場合には下記メールアドレスまでご連絡ください。
info@cac.med.kyoto-u.ac.jp（メール送信時、@を半角にして下さい。）

＜医学研究に関するお問い合わせ＞
1)　研究課題ごとの相談窓口
京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センター
山田重人（教授）
TEL：075-753-4345

2)　京都大学の相談等窓口
京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛
（Tel）075-753-9301
（E-mail）060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp